

小平都市計画道路3・3・8号府中所沢線に関する市民による「対話の場」の設置について

請願理由

小平都市計画道路3・3・8号府中所沢線(以下、小平3・3・8号線)は、府中から所沢までを結ぶ東京都の都市計画道路の小平市部分を指します。五日市街道から青梅街道と府中街道との交差点まで、南北1.4kmの区間を府中街道と並行して走る道路の計画です。

小平3・3・8号線は、1962年に都市計画道路として計画決定されました。建設されないまま48年が経過し、2010年2月になって、東京都は道路の幅員を28mから36mに変更する素案についての住民説明会を開催しました。現在、環境影響評価を行っています。

東京都は、小平3・3・8号線の必要性の根拠として、府中所沢・鎌倉街道沿線の東村山市から町田市までの6市を相互に行き来する自動車の延べ台数(1日あたり)が、2005年の67,000台から、2030年には34%増加して、90,000台となるという交通量予測を示しました。しかし、小平市の資料によれば、府中街道のふれあい下水道館前での交通量は、2001年から2009年までほぼ横ばいで、都予測の増加傾向とは異なっています。

小平3・3・8号線の整備効果として、東京都は「多摩地域における人やモノの動きの円滑化」「府中街道をはじめとする周辺道路の渋滞緩和」「生活道路に進入する通過交通の排除による良好な居住環境の確保」「地域の防災性や安全性の向上」「環境施設帯による快適な都市空間の創出」をあげています。

一方、建設予定地には、国の史跡で小平グリーンロードとして親しまれる玉川上水や、小平市中央公園に隣接する面積13,000m²の雑木林があり、200戸以上に及ぶ緑豊かで閑静な住宅地が広がっています。小平3・3・8号線が建設されると、小平市に残された貴重な緑の回廊が喪失し、200世帯以上の市民が立ち退きを余儀なくされます。また、4車線道路により、コミュニティーが分断され、大気汚染や騒音被害がもたらされることも懸念されます。この事業には、およそ200—250億円の費用がかかると言われています。

計画決定直後の1963年1月には、津田町、上水本町、小川町1丁目の人口は、約10,000人でしたが、2011年1月には、約31,000人と3倍に増加し、数多くの市民が、計画を知らないまま定住しています。1962年の計画決定当時と比べて、社会・自然環境や人々の価値観は大きく変わりました。

小平市の自治基本条例第10条(参加の機会の保障)では、「執行機関は、次に掲げる事項を行う場合は、参加をする機会を保障するものとする」として、「市民生活に重大な影響を及ぼす施策又は制度の導入又は改廃」と明記しています。

小平3・3・8号線は、小平市民および小平市の環境に非常に大きな影響を与える道路計画ですが、市民への周知は不十分です。また、計画については賛否双方の意見があり、十分に議論が尽くされたとはいえない状況です。

よって、請願者は、小平市民として、小平3・3・8号線計画について、市民同士で議論する「対話の場」の設置を提唱し、以下のことを求めます。

請願事項

- 1 小平市は、小平3・3・8号線計画について、幅広い市民が参加して話し合う「対話の場」を設置し、そこで出された意見を、小平市民の提言として、東京都に提出し、広く市民に知らせること。
- 2 小平市はその提言を、今後のまちづくりに生かすこと。

紹介議員

日向みさ子
立花隆一
木村まゆみ
村松まさみ
坂井やすのり

2011年9月16日

請願者

都道小平3・3・8号線計画を考える会
代表 水口和恵

住所 小平市上水本町3-16-15-103

小平市議会議長殿

署名簿

住 所	氏 名

*原紙をご提出ください。代理署名の場合には、印鑑が必要です。